



テンプルスクエア

ソルトレイク・シティは、約 170 年前に末日聖徒イエス・キリスト教会（モルモン教）の信徒が入植し、建設した街として知られています。迫害から逃れてこの地にやってきた信徒たちは、疫病やかんばつに見舞われながらも土地を開拓し、ユタ州の州都である現在の市の基礎を築きました。市の中心部にはモルモン教の総本山である「テンプルスクエア」が置かれており、6つの尖塔を持つ独特な構造のソルトレイク・テンプル（写真中央左）や大聖堂などの施設が立ち並んでいます。



世界の地域から ソルトレイク・シティ（米国）



ボンネビル・ソルトフラッツ

ソルトレイク・シティの北西には「グレート・ソルトレイク」と呼ばれる巨大な塩水湖が広がっています。この湖の西に位置する「ボンネビル・ソルトフラッツ」は塩水湖が蒸発した跡にできた広大な塩の平原で、20世紀前半から自動車のスピード競争が開催され、人気を博しています。また、雪解けのシーズンや雨の後には塩の平原に薄く水が張り、景色を鏡のように映し出す幻想的な光景に出会うことができます。